

長崎大学医学部卒業後 50 年 (昭和33年卒・三三会) の祝宴と クラス全員による医学部内を 桜公園にしようと植樹



昭和 33 年卒 はまぐち よしひろ
濱口 美博

今年(2008年)は天皇陛下と美智子皇后様のご結婚された年から50年目であります。Paris万博の時にエッフェル氏に依って作られたエッフェル塔を抜いて世界一高い東京タワー(333m)が出来た年から数えても50年の月日が過ぎました。

奇しくも、この年は我々が長崎大学医学部を卒業した年でもあります。当時は、医学部の教養課程で過ごしても、我々の如く他大学で所定の単位を取得しておれば旧制大学医学部と同様に、編入試験も一緒に受けられ、成績の良い者から順に改めて入学許可を許されました。

我々のクラスは入学時85名のクラスでありましたが、その中、他大学からの入学者は43名であり、長崎大学医学部進学コースからの入学者は42名でありました。

卒業後50年が過ぎると、85名の学友のうち26名は既に鬼籍に入り、病氣その他で今回の祝宴に出席出来ない者も多くなって来たので、今回の祝宴は夫婦同伴で“花月”で行うべく早くより“朋百(vol.113)”にその事を掲載させて頂いて、更に、長崎在住で何時もお世話下さる方々10数名の方々が度々会合をもって下さって、男性40名とご夫人14名の合計54名による祝宴と相成りました。

翌日(2008年10月19日(日))は、長崎国際C.C.にてご夫人も加わり17名で楽しい“三三会ゴルフ大会”を好天に恵まれて行うことが出来ました(これ迄に我々の三三会ゴルフ大会は、優勝された方が次の幹事になって隔月位に全国各地で行って来ました)。

特に、今回の卒後50年の祝宴は高原浩、浦野善一郎、宮田佳和等々の諸兄が中心になって、“花月”の大広間の予約からホテルの宿泊のお手配等々の心配まで、至れり尽くせりの配慮を頂き、深く深く感謝しました。更に、ゴルフに参加出来ない方は二次会場もお世話頂き夫々にご夫人同伴で、またゴルフに出席の方は夫人だ

けが参加し、久々に元気でお会い出来た喜びにシャンパンで乾杯し、うまい赤と白ワインで楽しめました。

更に、私達が医学部4年生の時(今の6年生)は、1957年が長崎大学医学部開学100周年であったため、当時の北村精一医学部長(皮膚科)が中心になられて、オランダ国大使を初め、ポンペ先生の母校や国の内外から多数の関係者を当大学医学部にお招き致し、素晴らしい式典があり、北村精一医学部長先生も、オランダ国から最高の勲章を頂きました。この事を我々学生も大いに喜び、且つ大きな誇りと夢を将来に抱いて我々の中から更に“ノーベル賞”を頂きたいものだと思ふ膨らんだ日のことを昨日の事のように思い出します。

そのために、この記念すべき母校の開学百年の素晴らしい節目に因るため、最上級生であった我々のクラス全員に計って“卒業時にクラス全員によって、大学内へ桜を記念植樹”することを相談しようとしたのですが、卒業が終わると、当時は引き続いて国家試験があつて、更にインターンのために全国思い思いの病院へ別れて行き、更に、結婚する者もあつて、更にその上、全員が親の脛齧りでもあつて、この素晴らしい計画は成就しないままに50年の歳月が過ぎてしまいました。

今回は特に、長崎在住のクラスメートへも早くからお話を致し、且つお願いをし、同窓会雑誌“朋百(長崎大学医学部創立150年の特別記念号(vol.113))”“へも寄稿をさせて頂き”長崎大学医学部を染井吉野桜によって桜公園にしよう!!“と提案させて頂き、医学部内、グビロガ丘、運動場周囲等々へ植樹をすべく、大学側にも、その桜の植える場所などもご了解を頂いて、今年(2008年)の初めにプロの植木さんの指示で植樹に最も好適時期の年初めに植樹をしてもらい、書道に長年親しんでおられるクラスメートの高原浩学兄へお願いして石柱も入

れて頂いた次第であります。

更に、長崎大学医学部進学課程から来られた方々は、原爆投下直後の長崎市内には校舎もなく教養時代を近郊の大村市で過ごしました。この地には国の特別天然記念物である“大村八重桜”が大村神社内にあって大いに青春時代を慰められた当時を思い出して、高原浩、浦野善一郎、宮田佳和、更に大村在住の南野健の方々が大村市長さんにお話に上がり、この記念すべき時に、是非長崎大学医学部校庭へ国の特別天然記念物である“大村八重桜の寄贈”をして頂くようお願いしました。

大村市長さんは快く賛同して下さい、改めて市議会を通して、この期に、長崎大学医学部内へ、国の特別天然記念物の“大村八重桜”を寄贈して下さい、私達の希望を叶えて下さることになりましたので大学医学部側へも了解を頂き且つ、植樹の場所も大学側に指示して頂いて、植樹の最適な時期を待ってプロの植木屋さんへお願いして今年(2008年)12月4日(木)に、目出度く植樹することが出来ましたので改めて植樹後の“大村八重桜”を前述のクラス代表の方々が写真に撮ってお礼に上がることが出来喜んで頂きました(記念切手をご参照下さい)。

